



## オリパラ通信 Vol.3

### パラカヌー選手

**カテリン  
ウォーラーマン**  
選手



2013年に突発的な感染症になり車椅子生活に。リハビリで体験したカヌーの楽しさを知り、無我夢中で没頭。様々な世界大会へ出場し、リオパラリンピック大会では4位。東京大会ではメダルを母国へ持ち返ることが目標。

### パラカヌー選手

**ロビンソン  
メンデス**  
選手



12歳の時に事故にあったが、障がいに負けずにトップレベルのパラアスリートになる！と決断。車椅子テニスに熱中し、過去4回のパラリンピック大会に出場。その後、カヌーの魅力にはまり、東京大会への出場を目指している。

8月26日～9月8日の2週間、加美町でチリ共和国パラカヌー選手団が事前合宿を行います。来町する選手のみなさんをご紹介します！

### これでぼっちリ!豆知識

**ぼっちリ1** 南三陸町にはチリから寄贈されたモアイ像があるだ〜ご! イースター島の石材で作られていて、世界で見られるのはここだけだ〜ご! 目もついていて珍しいだ〜ご!

**ぼっちリ2** “モアイ”は現地語で「未来に生きる」という意味だ〜ご!



### パラカヌーコーチ

**アリエル ルビラー** コーチ



13歳でカヌーを始め、大学卒業後は子どもたちへ指導。チリで障がいスポーツを学び、2015年チリパラカヌー代表チームのコーチとして採用され、カテリン選手の専属コーチとなる。東京大会では両選手のメダル獲得を目標に、熱血指導中。